

科目名 (Subject)	外国語演習 b (フランス語)			Foreign Language b	
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前 期		
担当教員名 (Name)	尾形 弘人 OGATA Hiroto		研究室番号 (Office)	521	
Office Hours	木午後 (メールで事前連絡すること)				

1. 授業目的・方法 (Course objective and method)

これまで学習で各自身に付けたフランス語運用能力をさらに発展させ、フランス語学習において自立できるだけのレベルを目指します。ここで「自立」とは、自分の目的に応じて、自身でフランス語を勉強できることを意味し、その基本はやはり辞書を使いこなせることにあります。

2. 授業内容 (Course contents)

フランスの文化や社会などについて書かれた文章を「速読」、「多読」します。予習に際しては、辞書の日本語訳をつなげるのではなく、構文や語法がどのように辞書に説明されているかに注意してください。また、固有名詞やテーマの背景など、不明の点があれば、インターネット等で必ず調べておくこと。さらに、音読も予習に含めますので疎かにしてはいけません。

3. 使用教材 (Teaching materials)

追って指示する。

4. 成績評価の方法 (Grading)

定期試験は行わない。主に次の諸点について、授業でのパフォーマンスをもとに評価する。

- ・発音 (正確性はもとより、フランス語らしく聞こえるかどうか)
- ・構文を素早く見抜く力 (「どれが主語で、どれが動詞か」「単文か、複文か」など)。
- ・語法の深い理解 (「なぜその冠詞なのか」「時制は何か」など)。
- ・微妙なニュアンスを感じ取るセンス (「なぜ単数ではなく複数なのか」など)。
- ・全体的な内容の理解 (テキスト内容のみならず、行間や背景も理解できているか)。
- ・予習の質 (上の諸点を十分に意識して予習しているか)

5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

フランス語の学習において

秀：自立できている。

優：ほぼ自立できている。

良：自立に近い。

可：自立しているとまではいえないが、一定のレベルにはある。

6. 履修上の注意事項 (Remarks)

学部のフランス語 I および II を単位修得済みか、あるいはフランス語検定試験 3 級合格程度の学力があることを前提とします。